

編集後記

『研究報告』 52号をお届けします。コロナウィルスの猛威もほぼ沈静化に向かい、分科会の年間行事も、対面形式の活動に戻ることができました。本誌面も充実したものとなっています。研究発表として、世界史からは「歴史総合」を導入した学校現場での成果と問題点を踏まえた発表2本、日本史からは博物館との協業による地域の歴史資料を用いた授業試案を掲載しています。また、恒例となった世界史の高校・大学連携事業や日本史サマーセミナー報告、講演録、史跡踏査参加記と多彩な内容となっています。どうぞ御高覧ください。

さて、2023年度は昨年度の「歴史総合」に続き、「日本史探究」「世界史探究」が導入された初年度でした。『学習指導要領』には「探究」科目は、日本・世界のそれぞれの原始・古代～現代までの範囲を「歴史総合」で学んだ方法を用いて、生徒自らが歴史資料を読解して問いを立て課題解決をする、という崇高な目標が掲げられています。しかし、実際の高校現場では毎回の授業に合わせた歴史資料の精選と教材化の困難さ、進度の遅れ、評価の問題など、様々な問題が噴出しています。しばらく試行錯誤が続くと思いますが、教員一人で負担を抱え込まず、分科会などの研究会に参加して教員全体で問題を共有・克服していく途を探っていければと思います。世界史・日本史各研究推進委員会へのご参加、お待ちしております。

(K)

ホームページも随時更新して、内容を充実させています。ご覧ください。

神奈川県高校社会科部会歴史分科会ホームページ

<http://kanagawarekishibunkakai.cho88.com/>

出版・情報委員長 大久保 敏朗、副委員長 風間 洋

社会科部会歴史分科会『研究報告』《第52号》

発行日 2024（令和6）年5月22日

発行 神奈川県高等学校教科研究会

社会科部会 歴史分科会

出版・情報委員会

発行責任者 中山 拓憲（歴史分科会長）

印刷 スピード印刷工房

〒815-0031 福岡市南区清水 2-15-30

代表電話 092-555-7450